

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和4年9月26日（月）午後1時30分から

会 場：アオーレ長岡 東棟4階 大会議室

**【会見項目1：オープンイノベーションで楽しく歴史を学べる！子育てエリアも！
悠久山公園の再整備への意見を募集】**

（市長）

悠久山公園の再整備への意見募集について、資料No.1をご覧ください。令和2年は長岡開府400年と、悠久山公園の開園100年に当たる年でした。これをきっかけに、長岡市は悠久山公園の再整備を行っていますが、本日は、公園内の石碑を巡って郷土の歴史を学ぶ環境整備と、大型すべり台周辺を再整備して子育てエリアにリニューアルする取り組みを紹介します。

まず、デジタル技術を活用した体験型実証実験です。公園内には、長岡の歴史的な人物の石碑が23あり、それぞれに背景や物語がありますが、これらを学んで後世にしっかりつないでいく環境を作るため、散策ルートの設定や周辺の環境整備を進めています。こうした中、NaGa0Kaオープンイノベーションにおいて、ウェブによる道案内ツールを活用してはどうかとの提案がありましたので、「石碑のルート案内」と、人物紹介や石碑の現代語訳等を拡張現実の表示で解説していく「石碑のAR解説」のコンテンツについて実証実験を行うものです。

実証実験の期間は10月3日から11月30日までで、別紙の石碑案内ルート図のとおり、河井継之助、小林虎三郎、三島億二郎の石碑をめぐる2つのコースを設定しました。資料にあるQRコードをスマートフォンに読み込むとサンプル版がお試しいただけます。モニターにサンプルを映しますのでご覧ください。

（都市施設整備課長）

それでは、実際の動きをご覧いただきたいと思います。QRコードを読み込むと、ルート案内のトップページが表示されます。「参道コース」「さくら山コース」の2つのコースがあります。もっと詳しく知りたいという場合には、画面の下の方に長岡市ホームページ「ゆかりの偉人・先人」「石碑の全文の解説」といったリンクもありますので、詳細をご覧いただけます。

それでは、「参道コース」を散策していきます。お手元の図面のオレンジ色のコースです。コースをクリックすると音声ガイドとともに現在位置が表示され、案内がスタートします。

（音声案内）

道中の石碑を紹介しながら、悠久山公園を巡ります。はじめに、小林虎三郎・病翁の碑に向かいます。第5駐車場から参道へお進みください。

（都市施設整備課長）

音声ガイドに沿って進んでいくと画像が順次切り替わります。それでは少し進んで、小林虎三郎、河井継之助の碑を巡ります。

（音声案内）

直進してください。小林虎三郎・病翁の碑に到着です。階段を上がると蒼柴神社がごぞいます。蒼柴神社に到着です。直進してください。左方向にお進みください。間もなく河井継之助の碑に到着です。

（都市施設整備課長）

このコースでは、最後の終点が河井継之助の碑になります。また、石碑の前には案内看板があり、そこにAR表示用のQRコードがあります。それを読み込むと、AR表示で石碑の解説

をご覧ください。説明は以上です。

(市長)

河井継之助の碑のQRコードを読み込むと、碑文の現在語訳が出るということです。ぜひ皆さんからスマホやタブレットを片手に、公園を散策していただきたいと思います。スマホに出るルートに従って歩いていただければ、その都度、史跡についての説明が出ますので、それをご覧ください、多くのご感想やご意見をいただきたいと思います。

2つ目は、子育てエリアのリニューアル案についてです。大型すべり台周辺をリニューアルするもので、芝生広場や屋根付きのふわふわドームの整備、大型すべり台の改修、幼児に対応したトイレの設置等であります。いずれも市民アンケートで希望の多かった施設です。ホームページに掲載のリニューアル案をご覧ください、多くのご意見をいただきたいと思います。

意見の募集は10月3日から21日までで、いただいたご意見は最終的な整備に反映させていきたいと考えております。

(記者)

今回の整備で、デジタル技術を活用することの意義や、どのように使ってほしいかということをお聞かせください。

(市長)

今までは案内人がいて、例えば観光として悠久山巡りの募集をしてご案内する、または地域の方が学校の子どもたちを連れて説明するということが過去には行われていましたが、そのような仕組みがなかなか維持できないということがあります。これからは誰が行っても案内や説明が受けられる形を、デジタル技術を使って実現したいということです。

また、悠久山公園を訪れていただくと、特に戊辰戦争以降の歴史が石碑の説明によって知ることができますので、「長岡を知るにはまず悠久山公園へ」というような観光面での案内や、子どもたちの学びの場を作ることが可能になると考えております。

(記者)

来年度以降の本格整備に生かすとありますが、来年度以降も体験ができるということなのか、または今回だけなのかという点をお聞かせください。

(市長)

今回の実証実験を経て、最終的には石碑全てでAR解説を表示できるようにしたいと思っています。コンテンツを最終的にどのように作っていくか、皆さんからご意見をいただきたいと思っています。

(記者)

子育てエリアの大型すべり台の改修について、ひどい時は滑ると服に穴が開くというような話も聞きますが、そうした点も踏まえての改修ということですか。

(市長)

古くなっておりますので、危険性のないように、もっといいものにしたいと思っています。

(記者)

滑りを良くして距離を延ばしたりするのか、どういうイメージでしょうか。

(都市施設整備課長)

色もだいぶ落ちてきましたし、滑りも悪いですので、ある程度滑るようにしたいと思っています。ただ、スリルがありながらも危険性がないように、ちょっと滑りやすく安全にということ考えています。距離は変えず、今のすべり台のたたずまいは残す方向です。

**【会見項目2：英国の世界遺産ストーンヘンジで長岡の火焰型土器を展示！
縄文文化の象徴として魅力を世界に発信します】**

(市長)

次に、イギリスの世界遺産・ストーンヘンジでの長岡の火焰型土器の展示についてです。長岡市はこのたび、英国の歴史的建造物保護機関であるイングリッシュ・ヘリテージからの要請を受け、馬高縄文館で保管している火焰型土器1点を貸し出すことにしました。そして、この土器がストーンヘンジのビジターセンターで展示されることになりました。

「環状列石：ストーンヘンジと日本先史時代」という名称で、9月30日から来年の8月31日まで開催され、「北東北・北海道の縄文遺跡群」として世界文化遺産に登録された、秋田県の大湯環状列石、伊勢堂岱遺跡、三内丸山遺跡の土器や土偶とともに、市内深沢町の岩野原遺跡の火焰型土器1点が展示されます。ストーンヘンジがつくられ始めた時期は、火焰土器の時代とほぼ同時代の約5千年前と言われており、この特別展は同時代に発展した縄文文化を紹介することをテーマとして開催され、火焰型土器もその象徴としての展示になると聞いております。

展示に至る経緯ではありますが、平成28年から行われている大英博物館での火焰型土器の展示を調整していただいた、英国のセインズベリー日本藝術研究所の所長であるサイモン・ケイナー博士が橋渡しをしてくださいました。令和元年7月に、特別展の主催者であるイングリッシュ・ヘリテージと本市の科学博物館の関係者が現地で協議し、展示が決定しました。当初は令和2年9月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期されていたものです。

今回展示される岩野原遺跡の資料は火焰型土器の典型的な特徴を持つもので、重要文化財の馬高遺跡出土品A式1号の火焰土器に比べても遜色のないものです。世界中から年間100万人の観光客が訪れるストーンヘンジで、世界文化遺産に指定された秋田県、青森県の資料とともに長岡の資料が1点展示されますが、参考資料のとおり、イングリッシュ・ヘリテージのホームページや英国のガーディアン紙の記事で、縄文文化の象徴的遺物として岩野原遺跡の火焰型土器の写真が大きく使用されています。英国の関心の高さがうかがえるものと考えております。今回の特別展を通じて、大英博物館で展示されている火焰型土器群とともに、日本が誇る縄文文化のシンボルとして、改めて長岡の土器の魅力を世界に発信できると考えています。

(記者)

ビジターセンターにイギリス以外の資料が展示されるのは初めてということで、記念すべきことだと思いますが、世界中から100万人も訪れるところに展示されることへの期待をお聞かせください。

(市長)

既に大英博物館で展示が行われていますが、私もその展示を実際に見ていろいろな説明を受ける中で、ヨーロッパや世界全体で先史時代に対する関心が非常に高いと実感しました。世界では日本の縄文文化、特に火焰型土器の造形のすばらしさは非常に注目を集めております。

今回のストーンヘンジでの展示に際しては、同時代に何があったのかということで英国の研究者が火焰型土器に非常に注目し、石の文化だけでなく土器の文化を同時代に人類が生み出していたということを、火焰型土器の展示で示したいという強い意向があると聞いております。長岡が誇る火焰型土器の発信に、非常に大きな力を与えてくれるという期待を持っています。

(記者)

大英博物館で展示されている資料もありますが、今回ストーンヘンジに展示される土器は、過去に大英博物館で展示されていたものですか。

(科学博物館長)

今回貸し出す岩野原遺跡の土器については、大英博物館には展示されたことはありません。大英博物館では現在、4点を常設展示しており、そのうちの2点は同じ岩野原遺跡の出土品になりますが、今回貸し出すものは新たに展示されるものです。

(記者)

そうすると、今回の火焰型土器は初めて展示されるということでしょうか。

(科学博物館長)

海外で展示されるのは初めてです。

(記者)

大英博物館で展示されている4点のうちの2点は、岩野原遺跡の火焰型土器ということですか。

(科学博物館長)

そうです。火焰型土器は、似たようなものが何点も出土していて、その中から状態の良いものを貸し出しています。

(記者)

火焰型土器が海外で展示されるのは、英国に限らずよくあることなのでしょうか。

(科学博物館長)

文化庁が行った、日本文化を紹介する海外の展示の時には、縄文土器の代表として長岡の火焰土器や火焰型土器が出品されたり、十日町市の国宝の火焰型土器が出品されたりしました。長岡市の土器について言うと、文化庁主催の事業でアメリカやドイツ、イタリアなどで展示されたことがあります。

(記者)

長岡市として貸し出すというのはあまりないということでしょうか。

(科学博物館長)

長岡市として貸し出すケースとしては、大英博物館への貸し出しと今回の事案ということになります。

(市長)

ちなみに火焰土器A式1号は、戦後のパリ万博で初めて海外に貸し出しを行っています。それが最初です。

**【会見項目3：個別接種は9月27日から、集団接種は10月1日から
オミクロン株対応ワクチンの接種を開始します】**

(市長)

オミクロン株対応ワクチンの接種開始についてご説明する前に、まず長岡市の新型コロナウイルスの感染状況について、概要をご説明します。

10万人当たりの新規陽性者数の推移をモニターに示しておりますが、赤い線が長岡市の新規感染者数の推移で、黒い線が東京都、水色が全国、緑の線が新潟県の推移です。第7波のピークに長岡まつり大花火大会が行われ、その後の新規感染者数がどうなるのか非常に心配する向きもありましたが、実はその影響はほとんどなく下降に転じて、また一つのピークが形成されたのがお盆明け後ということでありました。長岡市ではお盆明けにおいて1日当たりの感染者数が450人ということがありましたが、直近の週では150人を割り込んでいます。

ただ、このまま収束すると思えませんので、市民の皆様には体調不良のときには出勤しない、通学しない、飲み会やイベントには参加しないということをお願いかけたいと思います。これは、例えばインフルエンザなどの感染症になった場合の常識だと思いたいますが、例え軽症であっても他の人にうつす可能性は極めて高いわけですので、ぜひ守っていただきたいと思います。

新潟県による新規感染者の全数届け出の見直しを受けて、医療機関からの発生届の対象外となる方や自己検査で陽性となった方の届け出先として、本日、陽性者登録・フォローアップセンターが開設されました。ご自分で届け出ること、24時間体制で健康相談が受けられるというものです。そのことによって発熱外来の混雑が避けられれば、医療機関の逼迫も抑えられま

す。希望者は、食料支援やパルスオキシメーターの送付など個別の支援を受けることができますので、ぜひこのフォローアップセンターを活用していただきたいと思います。

それでは、オミクロン株対応ワクチン接種の開始についてご説明します。

長岡市では、オミクロン株対応のワクチン接種について、9月27日から個別接種を、10月1日から集団接種を開始します。対象は2回目接種が済んだ12才以上の方です。円滑に進められるよう、医師会や各医療機関と連携して接種体制の強化に努めていきます。

オミクロン株対応ワクチン接種の対象者の見込みは、合計で21万6千人で、全体スケジュールにつきましては、前回の接種からの接種間隔を5カ月とした上で、グループAの方から順に接種を進めていきます。なお、国が接種間隔の短縮を検討していますので、4回目接種済みのグループDの方につきましては、国の方針が決まり次第、改めてお知らせします。

具体的な進め方については、項番2「60歳以上等の4回目未接種の方（グループA）」をご覧ください。この方々については明日27日以降、オミクロン株対応ワクチン接種のお知らせをお届けします。それをご覧の上、各自で予約して接種していただきます。個別接種については、明日27日から準備の整った市内の医療機関で順次接種を開始します。集団接種については、既に接種日として設定していた10月1日、2日の集団接種からワクチンを切り替えて接種を開始します。10月15日以降の新たな日程は、10月8日から予約を受け付けます。

続いて、項番3「12歳から59歳の3回目接種済みの方、12歳以上の3回目未接種の方（グループB、C）」です。12歳から59歳の3回目接種済みの方には、10月7日以降、3回目接種日の早い順に4回目の接種券をお届けします。このうち、エッセンシャルワーカーの方は、明日27日から10月2日までに市ホームページの専用申請フォームから申請いただくと、優先的に接種券をお届けします。また、12歳以上の3回目未接種の方には、10月7日に接種のお知らせをお送りします。個別接種は10月11日から、集団接種は10月29日から接種を開始します。

なお、本市のオミクロン株対応ワクチン接種は、お届け済みの接種券により接種していただくことになっていますので、接種券を紛失した方は再発行申請の手続きが必要です。また、65歳以上の方は3回目、4回目の接種券に同封したタクシー割引券は引き続きご利用いただけます。5回目の接種券にも同封いたしますのでご利用いただきたいと思います。

（記者）

オミクロン株対応ワクチンの配送スケジュールは、具体的に見通せる状況でしょうか。

（新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長）

国からは第1弾として、ファイザー社製約21,000回分が9月23日に届きました。モデルナ社製は約2,300回分が9月21日に届いております。第2弾については今月28日に届く見込みです。

（記者）

オミクロン株対応ワクチンは、ファイザー社製とモデルナ社製のどちらもあるということですが、どこの集団接種ではどちらを使うということは決まっていますか。

（新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長）

いずれのワクチンとも、全数量が国から示されていないため全体像が把握できていない状況ですが、個別の診療所にまずはファイザー社製を配りたいと思っております。これは、3回目、4回目も同じようなやり方をしましたので、それを踏襲したもので、モデルナ社製については、まずは集団接種で使っていきたいと思っております。ただ今後、それぞれの配分量が示されてくると思っておりますので、その状況によって改めて検討したいと考えております。

（記者）

オミクロン株対応ワクチンの接種が始まるということで、改めて市民の方に呼びかけ等ありましたらお願いします。

（市長）

オミクロン株対応ワクチンということで、効果も十分あるということですので積極的に接種していただきたいと思います。

【その他の質疑応答】

(記者)

明日行われる国葬について、半旗を掲げるのかどうか、教育委員会に指示をされるのかなど、特別なことを考えているのかいないのか、その理由も併せて教えてください。

(市長)

安倍元首相の国葬儀については、特に長岡市独自の対応をする予定はありません。理由としては、国からの要請が何もないということがあります。また、国葬儀を決定するプロセスについて国民からいろいろ疑義も出ている中で、国民や市民全ての弔意、敬意をお願いするという状況にはないと考えております。閣議決定によるいわば内閣葬的な意味合いが強いという状況でありますので、そういう意味で、教育委員会も含めて市民に対する特段の呼びかけや配慮はせずに、それぞれの市民の皆様のご判断で対応していただきたいと考えています。

(記者)

国葬の関係で、教育委員会を含めて呼びかけをしないということですが、学校長の判断等で各小学校、中学校で個別に対応するということはあるのでしょうか。

(市長)

長岡市教育委員会からは、各校とも特段の対応をする予定はないとの報告を受けております。

(記者)

旧統一教会と国会議員との関係が問題視されていますが、市長は旧統一教会の会合に出席したり、選挙の手伝いをしていただいたりといった何らかの関係はありましたか。

(市長)

そういうものは全くなかったと認識しております。

(記者)

星野伊佐夫県議が、県議を引退するというお考えを示されていますが、市長として何か感想などがあればお聞かせください。

(市長)

後継の方が出たので、それが一つのきっかけになったという報道もありましたが、私としては、来年の統一地方選に向けた動きの一つであろうと想着いて、今後いろいろな動きが出て、最終的には統一地方選の中でこうした動きへの市民や県民の評価が出てくるものと思っています。この一点についてというよりも、まだ進行中の事案ではないかなと考えています。

(記者)

星野県議の引退表明の件に関連して、旧長岡市選出の県議会議員が半世紀近くぶりに1人代わるということで、入札に関する情報漏えい等もありましたけれども、星野県議に対して長年の長岡市政との関わりも大きかったと思います。プラスの面やマイナス面、市長も長岡市職員の行政職でいらっしゃった頃から接点もある程度あったのではないかと拝察しますが、今回の引退表明に寄せての所感を伺いたいと思います。

(市長)

時代の変化とともに、有権者としての市民の皆さんの意識も大きく変わってきていると思います。そういう意味では、政治状況、経済状況などいろいろな変化の中で、こうした次の新しい世代の方が手を挙げるという動きが出てきているということが、長岡市全体のこれからのにも影響を与えるのだらうと思っております。